

令和6年度職員採用選考試験（早期枠）

獣医師 専門記述試験（6.4.21）

＝ 課 題 ＝

○ 重大な動物感染症について

広島県では、令和2年度～令和5年度にかけ、4年間連続して「高病原性鳥インフルエンザ」が発生しました。

また、令和4年度～令和5年度にかけ、県内の野生いのししにおける「豚熱」感染がほぼ県内全域に拡大しました。

さらに、韓国では「アフリカ豚熱」や「口蹄疫」が確認されており、広島県はかつてないほどこれらの重大な動物感染症の発生リスクが高まっています。

これら重大な動物感染症が国内に侵入する経路や、現在、国内で取られている対策など知るところをできるだけ多く記述しなさい。（4疾病すべての回答も可）

○ 家畜伝染病について

現在国内で発生や感染が見られる次のA～Eの疾病から2つ選び、①原因（病原体名）、②病気の特徴、③対処法、④その他知るところを記述しなさい。

（選択肢）

A：ヨーネ病（牛）

B：牛伝染性リンパ腫（旧名称：牛白血病）

C：豚の日本脳炎

D：サルモネラ症（畜種・菌種は自由設定）

E：その他（疾病は自由設定）

○ 動物由来感染症・食中毒について

公衆衛生上重要な動物由来感染症には、アニサキス症、カンピロバクター感染症、溶血性尿毒症症候群（病原性大腸菌O157等）、結核病など様々な疾病があり、近年、増えているいわゆる猫カフェや豚カフェなどの飼育動物にも注意すべき疾病があります。

公衆衛生重要な動物由来感染症名を1つ上げ、知るところをできるだけ多く記述しなさい。（文中に記載以外の疾病も記述可）